

平成24年度 校区外部評価 学校評価表(改訂版)

最終まとめ版

学校名 御殿山小学校

【学校評価表の作成および評価にあたっての留意事項】

- 各学校では、それぞれの項目ごとに「本校の基本的な考え方」を記入してください。
また、教育委員会事務局が示した「評価指標(黄色い部分)」のほかに、各学校で、必要に応じて評価指標を設定してください。その際は、各学校の重点的な取組と関連させて評価指標を設定をしてください。なお、必要に応じて行を増やしていただいてもかまいません。
- この学校評価表の内容については、5月に各学校で行われる「学校評価説明会」において、校区外部評価委員の方々にご説明ください。また、その際には、学校経営方針(中期目標や今年度の重点など)について詳しく説明するとともに、評価を行うに当たって必要となる資料(昨年度の成果や今年度の取組など)を評価委員の方々に提示してください。
なお、評価の参考となる資料については、年度当初だけでなく、年間を通して、随時評価委員の方々に提供するようにしてください。
- 校区外部評価委員による外部評価委員会が開催される前に、学校は、自己評価結果(取り組みの状況や変化等、書式は任意)について、必ず説明をしてください。
(校区外部評価委員は、その説明と実際に自分が見た学校の状況等により、評価します。)

【校区外部評価委員の皆様へ】

- ☆評価をする際には、実際に授業等を見た内容だけでなく、学校が説明した内容、聞き取った内容も十分に参考にしてください。従いまして、評価のために必要と思われる情報や資料につきましては、遠慮なく学校にご請求くださいますようお願いいたします。

評価項目1 基礎学力の定着

学校名

御殿山小学校

<p>本校の基本的な考え方 (特に身に付けさせたい力、 重点的な実践内容など)</p>	<p>基礎学力とは、「児童・生徒が生涯にわたって学び続けようとする態度とそれを支える知恵」と捉え、読み・書き・計算力及びコミュニケーション能力、数学的思考力、科学的思考力の基礎を定着させる。</p>			
<p>評価指標</p>	<p>校区外部評価委員による評価</p>		<p>学校から</p>	
	<p>評価</p>	<p>評定についてのコメント</p>	<p>校区外部評価についての 教職員の意見</p>	<p>校長の態度表明</p>
<p>①児童・生徒は、学習の構え(学習するぞという雰囲気、学習の準備)ができていたか。</p>	<p>A</p>	<p>次の授業の準備がきちんと机の上に用意できていたり、チャイムが鳴るとしずかになりすぐに授業に入られる雰囲気がある。ただし一部の学級では、学習の姿勢(前を向く、話している人の方を見る、足を机の下にしまう等)に改善が必要だと感じました。</p>	<p>授業時間と休み時間との切り替えを自らできるように育てていくことはとても大切なことであると考えている。全教職員が共通理解し、今後さらに徹底して指導していきたい。</p>	<p>学力の定着・向上は学校教育の大きな命題の一つである。教師の授業力、それに呼応する児童の態度の向上に向けて全校で統一したスタンスを定着させるため努力していきたい。</p>
<p>②児童・生徒は、授業中、教員や友達ときちんとした言葉でやり取りをしているか。(単語や挙手だけの応答となっていないか。)</p>	<p>A</p>	<p>授業中概ね活発に発言し、言葉の足りない児童には、教師がきちんと指導を与えている。単語で答えている児童に対して、「～です。」「～ます。」をつけるよう指導が必要な学級もごく一部あった。</p>	<p>学校のきまりである「ごてんやまのこども」に、学習時間の約束を明確に示し、児童への指導をすすめている。</p>	
<p>③教師の指導に、メリハリが感じられたか。</p>	<p>A</p>	<p>話を聞く時間、グループでの話し合う時間、発表の時間など、1時間の授業の中で、授業に集中する工夫が見られた。</p>	<p>引き続き、児童にとって楽しく、わかりやすい授業づくりのための教材研究をすすめていく。</p>	
<p>④教師は、価値のある体験活動を実施しているか。(見ている、その体験活動の意味やねらいが分かるか。)</p>	<p>B</p>	<p>・2学期は板書の工夫等を取り入れることにより、何をやっているかはわかりました。外部評価等で明確になった課題をどのように解決しているのかが明確になるとよいと思われます。</p>	<p>・外部評価等で明らかになった課題を真摯に受け止め、今後も指導改善をすすめていきたい。</p>	
<p>⑤本校独自の学習規律を守っているか。</p>	<p>A</p>	<p>おおむね、きちんとがんばろうとする子ども達を育成されていると思います。</p>	<p>昨年度から刷新した学習のきまりが着実に定着してきている。</p>	

評価項目2 社会性・人間性の育成	学校名	御殿山小学校
-------------------------	-----	--------

本校の基本的な考え方 <small>(特に身に付けさせたい力、重点的な実践内容など)</small>	社会性・人間性の育成は、基本的な生活習慣はもとより、人間関係の良好な形成や規範意識の高揚と子供一人一人の感性を醸成する活動を十分に与えることによって高められた社会的役割を認知するものであると捉え、これを通して人間尊重の精神・態度をはぐくむ。特に・意見の違いや立場の違いを理解する子・自分と周囲の人々と物事の関係性を理解する子・他人に働きかけ巻き込む子・進んで活動し元気で活気あふれる子・最後まで粘り強く取り組む子・心身ともに健康な子の育成を図る。
--	---

評価指標	校区外部評価委員による評価		学校から	
	評価	評定についてのコメント	校区外部評価についての教職員の意見	校長の態度表明
①学校は、市民科の授業を計画的に実施しているか。	A	市民科授業が定着し、身近に感じられるようになった。市民科公開授業が行われるなど学校全体での取り組みが見られる。	年間計画をもとに、児童の実態に応じ、軽重を付けて、指導してきた。	社会的問題になっている「いじめ」等にかかわる現象が起きないように指導するとともに発生した時は、即座に対応できる体制づくりの強化をしていく。
②教師は、あいさつや礼儀、場に応じた行動など、しつけるべきことをしっかりと指導しているか。	B	指導できている教師が多いが、中に指導しきれていない教師が見受けられた。言葉使いや挨拶など普段から児童への言葉かけを大事にしてほしい。	教員同士が以前よりも課題意識を持ち、あいさつ隊、市民科でのあいさつカードの取り組み等を行い、改善が見られるようになった。目上の人に対する言葉遣いや礼儀にかけている面があるのが、課題である。	
③児童・生徒は、市民科で学んだことをもとに適切な行動をとろうとしているか。(市民科で学んだことが日常生活の中で定着しているか。)	B	学校全体では、落ち着いた節度ある行動をとっている児童がほとんどだが、クラスにより、多少ばらつきが見られる。	社会のきまりなど学んだことを実践しようとする姿が見られ、定着している児童が増えた。定着しにくい児童には、授業後も日常的に指導することにより、しっかり身に付けさせる。	
④教師が範を示している様子が感じられたか。	A	教師は日々努力して児童や保護者に指導している(授業など)ように見える。	礼儀正しい言葉遣いで声をかける、あいさつを自分からするなど、児童の手本となるように意識して行動するよう心がけている。	
⑤本校独自の生活規律を守っているか。	A	学習の準備や廊下の歩き方など一部できていない児童もいた。	指導方法を明確にしたことで、全教職員が協力し、指導を徹底することができた。これにより、児童のきまりに対する意識は高まってきていると感じる。 高学年児童を、自ら手本となり下級生に指導できるような児童に育てていくことが課題である。	

A=よく当てはまる B=概ね当てはまる C=どちらかという当てはまらない D=当てはまらない

評価項目3 小中一貫教育の推進

本校の基本的な考え方 <small>(重点的な取組内容など)</small>	・学力向上の観点から… ・人間形成の観点から…	小中一貫教育の最終目標である「自学自習の体得」を目指し、9先生での出口保障を行うために知識・技能の習得から知恵の創造に向けた教育活動を推進し、保護者・児童・地域からの信頼を得る。 「自分も相手も大切に」心をはぐくみ、正しい人権感覚を醸成することに努め、「時を守り、場を清め、礼を正す」を全ての教育活動の根底に据えて指導することにより、高い規範意識の育成に努めていく。
--	----------------------------	--

評価指標	校区外部評価委員による評価		学校から	
	評価	評定についてのコメント	校区外部評価についての教職員の意見	校長の態度表明
①教師は、小中一貫教育の意義を十分踏まえた指導をしているか。	A	日野学園との連携や4年生からの教科担任制は良い取り組みだ。	今後も義務教育9年間の系統性を意識し、教師の専門性を生かした指導体制の工夫をしていきたい。	連携型一貫校としての特色や工夫をもっと打ち出していきたい。
②小中一貫教育のよさが児童・生徒に伝わっているか。	B	学校の特色としても私立進学希望が多く伝わりにくい。さらに日野学園との交流がもう少し多くなると良い。	小中一貫連携校である日野学園と協力して交流活動を増やしていきたい。	
③学校は、保護者・地域に、小中一貫教育のよさを理解してもらう努力をしているか。	A	中学校の学校便りの掲示と家庭配布は良い。	引き続き、情報提供をしていきたい。	
④連携型一貫校としての取り組みができていますか。	A	日常的に交流ができている。小中連携型一貫の取り組みについて、御殿山小の考え方を説明する機会を作ったり、資料を配付したりしてもよいと思う。	学校日より、学校ホームページを活用して、情報提供をしていきたい。	

A=よく当てはまる B=概ね当てはまる C=どちらかという当てはまらない D=当てはまらない

評価項目4 保護者・地域との連携

学校名

御殿山小学校

本校の基本的な考え方 <small>(重点的な取組内容など)</small>	学校・家庭・地域が相互に補完し合う三位一体の融合した関係づくりを通して、三者の責任・役割を明確にし、それぞれが担う体制をつくるため、積極的な交流と意見交換の場を設定していく。 ・学校公開や授業公開、ゲストティーチャー、地域教材の活用 ・スポーツ指導者や町会長、青年部との会合や合同レクの開催 ・PTAやオヤジの会との交流 ・PTA、地域行事への参加				
	評価指標	校区外部評価委員による評価		学校から	
評価		評定についてのコメント	校区外部評価についての教職員の意見	校長の態度表明	
①学校は、保護者・地域に対して積極的にかわったり情報発信したりしているか。	A	・新しいホームページは大変見やすく、よく整理されています。また情報も適時にアップされています。校内の努力が良くわかる。児童を通じての資料配付や説明会が行われている。	・引き続き、学校ホームページの充実を図っていきたい。	保護者の理解、協力が得られるように今後も努力していく。	
②学校は、保護者・地域の力を十分に生かして教育を進めているか。	A	品川神社祭礼やファミフェス、幼稚園との交流学習等で交流することで地域としての教育を進められています。	・引き続き、地域、保護者、近隣幼稚園、保育園との交流活動の充実を図ってきたい。		

評価項目5 環境整備・美化

本校の基本的な考え方 <small>(重点的な取組内容など)</small>	・自然をより一層豊かにすることともに環境美化教育の推進、安全で清潔な施設・設備、学習環境を担保し、快適な生活環境・空間を作り、心の安定を保ち、健全な身体を育成する。 ・校舎内外掲示物の工夫。 ・自然環境の設備、校舎内外の整美 ・再開発、自校改築のための安全策				
	評価指標	校区外部評価委員による評価		学校から	
評価		評定についてのコメント	校区外部評価についての教職員の意見	校長の態度表明	
①学校は、常に、児童・生徒の安全に配慮していたか。	A	十分に配慮されている。今年度はPTA・地域とともに、通学路の安全確保についての要望書を教育委員会、警察、工事管理組合へ提出したことがすばらしいと思います。	警察、保護者、工事管理組合と共に通学路の点検、改善を行い、安全確保に努めた。児童の安全に対する意識を一層高めていきたい。保護者に示した災害時等の緊急対応を認知していただくことが課題である。	環境が人をつくるのごとく、整備・美化をして、安全に配慮していく。	
②学校は、ふさわしい環境(掲示、清掃等)を整える努力をしているか。	A	品川神社祭礼やファミフェス、幼稚園との交流学習等で交流することで地域としての教育を進められている。花壇の手入れや校内の清掃が行き届いており、気持ちが良い。	校内掲示の充実を図っている。清掃時間には、教師と児童がいっしょに清掃活動に取り組んでいる。		

A=よく当てはまる B=概ね当てはまる C=どちらかというと当てはまらない D=当てはまらない

評価項目6 学校独自の特色ある教育活動

学校名

御殿山小学校

本校の基本的な考え方 ・一人一人の児童の特性や個性・能力に応じた指導体制・内容、授業方法を取り、適切な学習環境を設定し、学力に特化した学校を創る。 ・学力の定着と向上。 ・様々ななかかわりのできる子の育成。 ・健康教育の推進				
評価指標	校区外部評価委員による評価		学校から	
	評価	評定についてのコメント	校区外部評価についての教職員の意見	校長の態度表明
①学力の定着・向上のための施策がなされているか。	A	算数少人数指導や朝帯昼帯放課後の細やかな学習指導が行われている。これからの時代、「学力」をどう定義するかがポイントだと思うが、自ら考え解決法を試行するという、「課題解決学習」を重視しているのであれば、素晴らしいと思う。取り組みの成果を期待している。	学習においては基礎・基本となる「読み・書き・計算」の定着と向上のため、国語科と算数科の年間指導時数を大幅に増やし、徹底した指導体制を組んでいる。	特色を明確に打ち出し、かつその成果が形となって明示できるようにしていきたい。
②様々ななかかわりのできる子の育成のための施策がなされているか。	A	縦割り班活動やいろいろな行事を通し、自分の役割を果たさなければならぬ施策が工夫されている。	委員会活動、クラブ活動、縦割り班活動、複数学年合同による遠足など異学年交流の機会を意図的に設定している。	
③健康教育の推進のための施策がなされているか。	A	保護者向けの保健だよりが充実している。しばらく校庭も狭く体育館もないので工夫した活動が必要になる。	改築工事の状況に合わせて、休み時間のとりかたや、ルールを工夫して遊び場を確保し、児童の運動量を確保する予定である。	
④				

評価項目7 いじめ防止に関する取り組み

学校名

御殿山小学校

本校の基本的な考え方 ・「いじめは絶対許さない」を学校経営第一の核とし、教員、児童、保護者も、いじめを見逃さないことを徹底する。 ・教職員は全校児童一人一人の様子や言動の把握し、気になったどんな些細な情報も管理職への連絡を徹底する。 ・いじめに発展する言動やいじめを発見した際は、校長が第一の指導者となり、本人及び保護者への指導を徹底する。				
評価指標	校区外部評価委員による評価		学校から	
	評価	評定についてのコメント	校区外部評価についての教職員の意見	校長の態度表明
①市民科や学級活動の時間などに、いたずらやからかいなど、人の嫌がる言動を取り上げ、指導を行っているか。	A	校長先生の話や何う中で、いじめ防止の為に、様々な努力をされている様に感じるが、「これ」と言った決定的な方策は無いと思うので、これからも児童のために、先生一人一人が多く目の目で一人一人を見守ってほしい。児童へのアンケート調査を通じ問題点を見つけようという姿勢がみられる。	市民科の他にも、相手の気持ちを考えて行動するように、随時指導している。問題行動があった場合には、その場で指導し、全体に注意を促したりしている。低学年から段階を追って計画的に指導を積み重ねていく必要がある。	いじめが起こる原因の払拭と対応。職員間の連携と協力を常に心がけ、学級・学年運営、学校経営をしていきたい。
②生きている喜びを感じる生活体験を積みせたり、豊かな情操や社会性を培う活動の積極的な実践を行っているか。	A	動物の飼育を通じ命の大切さや世話の大変さを学ばせている。	生活科で作物を育てる活動、担任がお勤めの本を紹介したり、生活経験などを話すなどの取組をしている。	
③すまいるスクールも含めた学校生活全てにおける実態把握・点検(表)や家庭聞き取り調査などを行い、一人一人をきめ細かく把握しているか。	A	アンケートから見えてくる問題点を学校全体で把握している。	担任教諭とスマイル指導員の間で定期的に、アンケート結果から明らかになった課題への対応や日常の児童の様子について、情報交換会を行い、共通理解を図り指導をすすめている。	
④家庭での語らいの大切さ、児童の言動や悩みの把握など、保護者の存在意義や役割の認識を深める共に、家庭との緊密な連携協力を図っているか。	A	いじめ防止に関する臨時保護者会を開催し保護者と連携して取り組んでいる。	保護者の理解と協力を得ながら、引き続き、いじめ防止のための取り組みをすすめていく。	

その他 お気付きの点を自由にお書きください。

いつも、子ども達の挨拶がさわやかで、本当に素晴らしいと思います。様々な取り組みを工夫されている結果だと思います。地域的に、様々なご期待がある学校だと思いますが、そうした思いを受け止めつつも、これからの時代を生き抜ける、「考え、やりぬく、思いやりをもった」子どもを育成していただきたいと思います。そしてそのためには、プロとして自らの力を向上させ、組織として力を合わせていただきたいと思います。

いつ訪問させていただいても落ち着いた雰囲気、ほとんどの教室で節度ある活発な授業が行われている。先生方も、「それぞれに授業の組み立て方、生活指導など、日々努力を重ねてくださっている様に見受けられる。多少の問題はあると思うが、先生方自身が横や縦に連携を取り合い、補い合ってこれからも御殿山小の子ども達の為によりよい指導をお願いしたい。(高)

低学年

- ・教師の指示が伝わるまで個々に指導され、学習ルール・目的・意図する指導内容がよくわかった。(1-1)
- ・忘れ物をした児童に対し、その場で連絡帳に書かせ、今後に結びつく指導が良かった。(3-2)
- ・適切に教師が机間指導し声掛けが上手く行われていた。

高学年

- ・グループ活動の際、意見を言いやすい雰囲気があり、全員が発言するよう促す児童もいて授業の雰囲気がとても良かった。(男女とも)教師の事前授業準備もしっかりとされている様子で、適切な声掛けにより、指導がされ、児童の発想や考えたことがさらに発展していた。(5-2)
- ・算数授業で、面倒くさいグラフ作りを一生懸命児童全員が行い、グラフから何を感じ、何を考えていくことができるか、算数でありながら他教科、今後の学習に結びつく深い内容の学習が行われていた。(6-1)
- ・学年教師間の連携がきちんとできている様子だった。

- ・前年度のコメントに対するフィードバックとして、どのような対策をとったのかが、明確になっているとよいと思います。